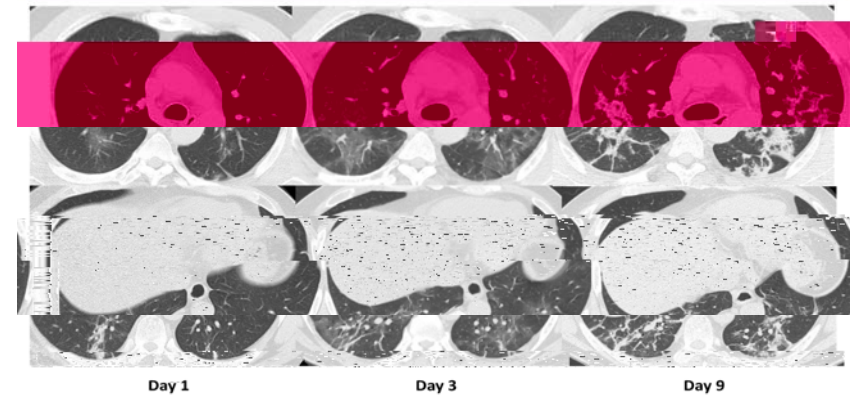






| 重症化リスク因子  | 評価中の要注意な基礎疾患など  |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>65歳以上の高齢者<sup>1)</sup></li> <li>悪性腫瘍<sup>2)</sup></li> <li>慢性閉塞性肺疾患 (COPD)<sup>3)</sup></li> <li>慢性腎臓病<sup>4)</sup></li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ステロイド<sup>10)</sup> や生物学的製剤<sup>11)</sup> の使用</li> <li>HIV 感染症 (特に CD4 &lt;200 /<math>\mu</math>L)<sup>12)</sup></li> <li>妊婦<sup>13,14)</sup></li> </ul> |

図 2-3 40 代男性 (2020 年 3 月入院: 中等症 II)



発症直後は COVID-19 肺炎に典型的な所見である。線維化が進行すると、薬剤性間質性肺炎を第一に考える所見であり、漢方薬の副作用で見られるパターンである。組織所見は線維化を伴った器質化肺炎である。本症例にはタファモスチットとアジスロマイシンが使用された。

「患者 (確定例)」の感染可能期間 (発症 2 日前～) に接触した者<sup>1)</sup>のうち、次の範疇<sup>2)</sup>に該当する者である。

患者 (確定例) と同居あるいは長時間の接触 (車内、航空機内等を含む) があった者と者

・適切な感染防護なしに患者 (確定例) と

・その他: 手で触れることのできる距離 (目安として 1m) で、必要な感染予防策なしで、「患者 (確定例)」と 15 分以上の接触があった者 (周辺の環境や接触の状況等個々の状

況周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染リスクを総合的に判断する)。

※1) 濃厚接触者とは異なる。詳しくは「2020年4月2日付」

「患者 (確定例)」の感染可能期間 (~~発症 2 日前～~~) に接触した者<sup>1)</sup>のうち、次の範疇<sup>2)</sup>に該当する者である。

・患者 (確定例) と同居あるいは長時間の接触 (車内、航空機内等を含む) があった者

・適切な感染防護なしに患者 (確定例) と

・その他: 手で触れることのできる距離 (目安として 1m) で、必要な感染予防策なしで、「患者 (確定例)」と 15 分以上の接触があった者 (周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染リスクを総合的に判断する)。

※1) 濃厚接触者とは異なる。詳しくは「2020年4月2日付」







**4.5**

# コロナワクチン Q&A

